

カラーマネージメント・プルーフイングのための GMGソフトウェアソリューション

GMG – カラーマネージメントと プルーフイングの標準

GMGが25年間に渡り培って来たグラフィックアーツ業界での経験、特に90年代初頭からのカラーマネージメントとプルーフイング分野での実績は、色再現に関する最高品質のソリューションを保証するものです。GMGは、世界各国に支社と正規販売代理店を置いており、10,000セットを超えるシステムが、広告代理店を始め、製版会社、オフセット印刷会社、国際的なグラビア印刷工場に至るまで、グラフィックアーツ業界全域に渡り、世界中で使用されています。また、GMG ColorProofシステムは、長年に渡り、ヨーロッパのグラビア印刷業界全体におけるデファクトスタンダードとなっています。

Prinovis、Schawк、Hearst MagazinesやAdidasなどの、国際市場で事業を展開しているクライアント企業は、高品質な印刷物を生産するためにGMG製品を活用しています。

ドイツのシュトゥットガルトとブツパートルでのProof Forum、米国シカゴでのIPA Proofing RoundupやイタリアのTAGAといった、世界中で定期的実施される第三者機関による測色および視覚テストの双方に於いて、GMGは常に最高成績を獲得してきました。

高い品質、信頼性、そしてリピート性は、GMG製品を象徴する特徴です。また、これらの特徴はGMGの製品そのものだけでなく、GMGが提供するサポートや世界的な販売網にも共通しています。

GMGは印刷標準のサポートに特化しています。従って、ISO、PSR、SWOP/GRACoL、3DAPやJapanColorといった一般的な国際印刷標準のすべてに関するプロファイルがGMG製品に含まれていることは言うまでもありません。勿論、これらプロファイルは、測色的にも視覚的にも最適化されています。

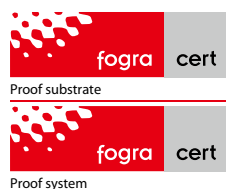
しかし、我々の目標は、すべての一般的な業界標準の仕様に準拠し、これに対応することだけではありません。GMGにとって重要なことは、様々な機関によって定められた標準より更に高いレベルを達成することです。

我々は、業界標準による印刷やプルーフイングによる標準化のコンセプトを世界に向けて積極的に促進することを使命としています。GMGが果たすべきもう一つの役割は、正確な色再現とその恒常性を可能な限り実現することです。

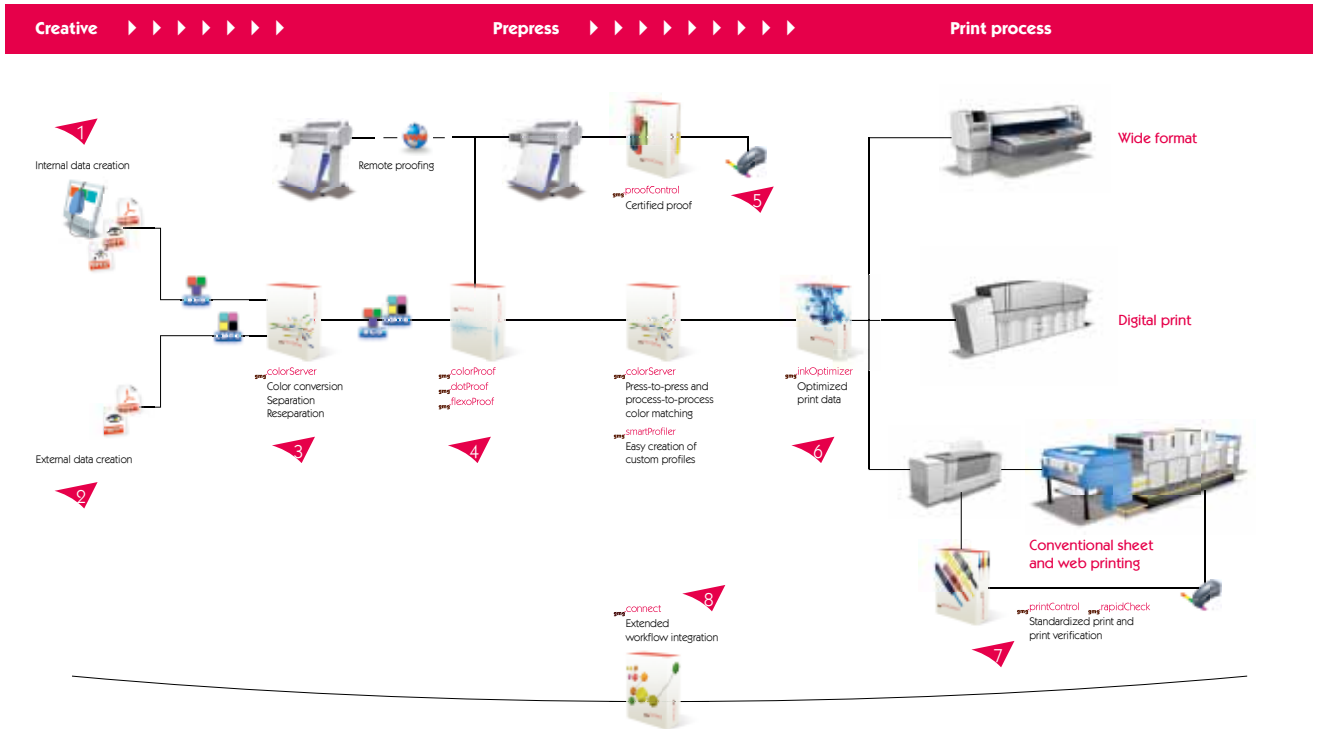
GMGの取り組みは、現在のGMG製品ポートフォリオに明快に反映されていますが、ただこれに満足している訳ではありません。GMGはグラフィックアーツ業界のお客様に対して、立案から最終印刷物の生産までのカラーマネージメントワークフロー全体を簡便化、標準化するための完全なソリューションを提供するため、更なる開発を目指し、取り組み続けています。



ドイツ・チュービンゲンのGMG本社



GMG カラーマネージメントワークフロー



典型的なカラーマネージメントワークフローにおいては、様々な企業や部門が作業に関与します。必要とされる品質が製造段階で確実に実現されるためには、様々な連携が必要とされる状況においても、カラーマネージメントワークフロー全体を可能な限り効率的に組み立てることが必要です。

データは **1** 社内で作成されたり、あるいは、**9** 社外から供給されるため、様々なデータ形式や異なる色空間での作業が必要とされます。

GMG ColorServer **3** は、カラーマネージメントワークフローにおいて、中心的な役割を果たします。このソフトウェアは、色分解、色の再分解、あるいは色変換を行うことで、データを一貫したカラー標準へと変換します。すべてのデータが印刷時に、同様の色再現となります。

また、GMG SmartProfilerと組み合わせれば、デジタル印刷機や広幅プリンターなど、様々な出力デバイスのプロファイル作成とキャリブレーションを、短時間で行うことができます。

次のステップでは、GMGブルーフィングシステム **4** を用いて、最終的に用いる印刷標準に基づく、データの色校正を行います。リ

モートブルーフィングにより、遠隔地でも色校正を行うことが可能です。GMG ProofControl **5** は、ブルーフが定められた標準に実際に準拠しており、コントラクトブルーフとして有効であることを検証します。

GMG InkOptimizer **6** はカラーインキの使用率を下げインキの使用量を抑制します。この作業により、印刷データが最適化されることでコントラクトブルーフのカラー再現が印刷機上で容易に行えるようになり、オフセット枚葉印刷では印刷特性が向上します。これには、勿論、印刷機がISO標準またはユーザー定義による社内標準のパラメータに実際に準拠していることが前提となります。印刷機の状態確認には、GMG PrintControl **7** を使用します。印刷機が定義された標準に準拠して印刷を行えるか検証し、印刷機が標準に準拠していない場合、パラメータの修正を行います。

GMG FlowConnect **8** は、ワークフロー上でのGMG製品のインテグレーションを最適化します。

GMG製品をそれぞれの作業工程で活用することで、トラブルから解消された高品質な印刷物の生産が実現されます。

GMGデジタルブルーフィングソリューション



GMG ColorProof

GMG ColorProofは、正確なインクジェットブルーフを出力するための、最も厳しい品質要求に応える完璧な連続階調ブルーフ用ソフトウェアとして、世界各国でその地位を確立しています。

このソフトウェアソリューションには、以下のような、ハイエンドブルーフィング用途に必要な機能が備わっています。

- GMG独自のMXデバイスリンクプロファイルと4Dカラー変換エンジンによる、正確な色再現
- 測定・計算のプロセスで高精度のプロファイルを作成可能な Profile EditorとSpotColor Editor
- 常に安定した出力を実現するキャリブレーションシステム
- ホットフォルダベースで運用が容易なワークフローと明快なGUI
- Adobe® PDF Print Engine 2.5 技術

GMG ColorProofは、印刷会社、製版会社、出版会社、広告代理店、写真家、プリントバイヤーをはじめ、完全な信頼性と再現性を備えた最高品質のカラーマネージメントを求める世界中の現場で使用されています。グラフィックアーツ業界が認めた実力をもつスタンダードRIPを、是非、ご選択ください。



GMG DotProof / DotProof XG

GMG DotProofは、GMG ColorProofのすべての機能に加え、CTP用の1bitデータを直接処理し、網点再現されたインクジェットブルーフを出力する機能を備えたソフトウェアです。

GMGが開発した特殊なアルゴリズムを使用して、スクリーンデータをインクジェットプリンタの解像度に変換し、1bitデータの網点形状、線数、角度を維持しながら、カラー精度に優れた網点再現ブルーフを実現します。最終出力と同じデータを使用するROOMコンセプト (Rip Once, Output Many = 1回のRIP処理で多様な出力) により、演算エラー、誤ったトラッピングやノセの設定、トーンジャンプやモアレの影響など、工程上のエラーの検出が容易になり、時間・経費の節約、生産性の向上を可能にします。

GMG DotProof XGは、Canon iPF 8300/6350/6300やEpson PX-H8000/H10000のような、RGB/OGインクを搭載した多色インクジェットプリンターに対応し、その拡張された色再現領域をフルに活用した網点再現ブルーフを実現します。



GMG FlexoProof / FlexoProof XG

一般的なオフセット印刷やグラビア印刷と比較した場合、フレキソおよびパッケージ印刷における製品群の特徴は、様々な印刷メディアとスポットカラーが使用されていることです。そのため、デジタルブルーフィングシステムに対する要求は、パッケージ印刷分野でも高まっています。フレキソおよびパッケージ印刷市場の固有ニーズに応えるために開発されたGMG FlexoProofソフトウェアは、新しいブルーフスタンダードを確立します。



GMG ProofControl / ProofControl Inline

GMG ProofControlは、コントロールストリップの測定値と定義された標準を照合し、プルーフの品質管理を行うためのソフトウェアです。

検証の結果をバンドルされたラベルプリンターから出力し、品質保証に役立てることも可能です。品質条件のカスタマイズとして、使用するコントロールストリップ、ターゲット値、測定条件および許容値 (CIE 1976, CIE 1994, CIE 2000およびCMCでのデルタE色差式) を独自に定義することができます。また、ISO12647-7で規定されたデジタルプルーフに関するガイドラインに準拠しており、色差のほか、色相差 (デルタH) の評価に対応しています。

GMG ProofControl Inlineは、Epson PX-Hシリーズに搭載された分光光度計でコントロールストリップを測定し、ラベル印字までをインクジェットプリンタのみで完結する、検証ソリューションです。GMG ColorProofシリーズに統合されたGUIにより、自動化されたシームレスな運用を実現します。



GMG ProofMedia

理想的な品質を備えたインクジェット出力によるプルーフは、すべてのシステムコンポーネントが良好に統合され、円滑に運用されている場合にのみ実現可能です。そのような意味で、出力用紙は色空間の範囲とプルーフの再現性に大きな影響を与える、重要な役割を果たします。GMG ProofMediaはコントラストプルーフに求められる最高品質条件に適合した、厳しい仕様に基づいて製造されており、優れた色調精度、乾燥性、インク受容性を持ちます。GMGは、オフセット印刷、新聞印刷、グラビア印刷およびパッケージ印刷の分野で必要とされる、各種出力用紙を提供します。

GMG ColorProof, DotProof/DotProof XG, FlexoProof/FlexoProof XG 技術仕様

必要ソフトウェア構成		機能	
オペレーティングシステム	Microsoft Windows 2003 Server, 2008 Server, XP Professional, Vista Professional, Windows 7 Professional (32bit, 64bit)	対応出力装置	Canon iPF 8300, 6350, 6300, 8300S, 6300S EPSON PX-H6000, H7000, H8000, H9000, H10000 HP Designjet Z2100, Z3200, Z6200 Mimaki UJF-706 Roland LEC-330, 540, VS-300, 420, 540, 640 およびその他インクジェット、レーザープリンタ
必要ハードウェア構成		対応フォーマット	PS, PDF, PDF/X, TIFF, TIFF-IT (CT/LWコンポジットおよび分版), TIFF-LZW/Packbits, Scitex CT/LW (Kodak), Bitmap LENおよびArtPro AIF (EskoArtwork), Photoshop DCS/EPS (Adobe), JPEGなど
プロセッサ	Intel Core i5 650 同等品以上	対応計測器	X-Rite Spectrolino/SpectroScan, i1, iO, i1 iSis Barbieri Spectro LFP, Spectro Swing
メモリ	4 GBのRAM, 750 GBのハードディスク	スポットカラー	HKS, Pantone FormulaGuide/Goe™およびDIC Library スポットカラーデータベース SpotColor Editorでカスタム作成可能
グラフィックカード / モニター	最小構成: 解像度1024×768 dpi以上のモニター, 32 bitカラー深度, DirectX 10対応, 256 MB以上のメモリを使用可能なグラフィックカード		
その他	DVD-ROM, 2つ以上のUSB 2.0ポート, ネットワークカード		
必要ハードウェア構成は、使用するオペレーティングシステム、出力装置の台数およびタイプに依存します。			
機能			
対応言語	英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、ポーランド語、ポルトガル語、スペイン語、簡体字中国語、日本語、韓国語		

GMG ProofControl 技術仕様

必要ソフトウェア構成		機能	
オペレーティングシステム	Microsoft Windows 2003 Server, 2008 Server, XP Professional, Vista, Windows 7 (32bit, 64bit)	適用印刷標準	ISO Offset 27L-32Lと39L-40L, ISO Newspaper 26と30, 3DAPv2, GRACoL 2006 #1, SWOP 2006 #3と#5, PSR Gravure (ECI) HWC, LWC, MFおよびSCIに関するターゲット値, 新旧ISO 12647-7許容値との評価可能
必要ハードウェア構成		対応計測器	X-Rite i1 UVカットオフフィルタ付き・なし HP Designjet Zシリーズ, EPSON PX-Hシリーズ搭載の測色器
プロセッサ	Intel Pentium III以上	対応ラベル出力装置 (オプション)	Zebra TLP 2824 Plusラベルプリンタ Dymo Labelwriter 400/450
メモリ	256 MB RAM, 5 GBハードディスク		
ハードウェア	CD-ROMドライブ, 2×USBポート, スクリーン解像度1024×768 dpiのTrue Colorグラフィックカード		
機能			
対応言語	英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、簡体字中国語、日本語		

GMGカラーマネージメントソリューション



GMG ColorServer

GMG ColorServerは、GMG独自の色変換処理により、印刷機のある標準カラーから別の標準カラーへの色空間の変換、デジタル印刷機や大判プリンタシステムといった様々な出力装置をキャリブレーションとカラーマッチングを高い精度で行うソフトウェアです。

ホットフォルダ形式で、PDFまたはピクセルデータに対して、自動的に色分解または色変換、もしくは色の再分解を行うため、カラーマネージメントに関する専門知識を必要とせず、様々な印刷工程に適したデータを簡単、迅速に最適化します。更に、画像解像度の変換や、出力装置に適したシャープネス効果を適用することができます。

- GMG独自のMXデバイスリンクプロファイルと4Dカラー変換エンジンによる、正確な色再現
- 測定・計算のプロセスで高精度のプロファイルを作成可能な Profile EditorとSpotColor Editor
- デジタル印刷機や大判プリントシステムの安定化を実現するキャリブレーションシステム
- ホットフォルダベースで運用が容易なワークフローと明快なGUI
- Adobe® PDF Library 技術による、透明効果やオーバープリントを含むPDFの正確な処理
- Web Connect技術によるWebブラウザベースのジョブ監視、操作

GMG ColorServerは、プリントプロダクションを個々の手作業で調整するという手法から、自動化した工業生産体制への移行という、グラフィックアーツ業界の課題を解決します。この製品は、クリエイティブ、印刷、デジタルプロダクションプリントといったあらゆるシーンで、比類ない高品質を提供します。



GMG SmartProfiler

GMG SmartProfilerは、GMG ColorServerのプロファイル作成、キャリブレーションを支援するオプションソフトウェアです。

このウィザード形式のソフトウェアには、GMGが長年培ってきたプロファイル作成の技術・ノウハウが集約されており、画面の指示に従って、ステップ・バイ・ステップでチャートの出力、測定などの作業を行うだけで、高い精度のカラーマッチングとキャリブレーション結果を得ることができます。

また、"Eco Save"モジュールを追加することで、大判プリンタのインク消費量を約20%低減する特別なプロファイルを作成することも可能です。

GMG ColorServer 技術仕様

必要ソフトウェア構成		機能	
オペレーティングシステム	Microsoft Windows XP Professional, Vista Professional, 7 Professional, Server 2008, Server 2003 (32bit, 64bit)	入・出力フォーマット	PDF, TIFF, TIFF-IT, JPEG, CT/LW, EPS (Photoshop® ピクセルデータ)
推奨ハードウェア構成		対応言語	英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ポーランド語、トルコ語、中国語、日本語、韓国語
プロセッサ	Intel Core i5 650同等品以上	オプション製品	GMG FlowConnectによるワークフローインテグレーション GMG RipServer StandaloneによるファイルのRIP処理 GMG SmartProfilerによるプロファイル作成 GMG PrintControlによる印刷標準化 GMG InkOptimizer Moduleによるインキ使用量最適化
メモリ	2GB以上のRAM, 15GB以上のハードディスク空き容量	製品/バンドル:	GMG ColorServer / GMG SmartProfiler / Barbieri Spectro LFP RT計測装置 (大判プリンタ用)
グラフィックカード / モニター	最小構成: 1024×768 dpi解像度, 32 bitカラー深度		
その他	DVD-ROM, 2つ以上のUSB 2.0ポート, ネットワークカード		
必要ハードウェア構成は、使用するオペレーティングシステム、追加インストールするソフトウェアに依存します。			



GMG InkOptimizer / InkOptimizer Sheetfed

GMG InkOptimizerは、僅か数秒で、自動的に印刷データのカラーコンポジションを最適化し、インキの使用量を抑制すると同時に、印刷品質を飛躍的に改善します。最適化作業はGMGの4Dデバイスリンクプロファイルに基づき実施されます。この変換で、CMYカラーコンポーネントは、色再現が正確に保持された状態で、スミ版に置き換えられます。

精巧なインキ換算アルゴリズムは、色再現に影響を及ぼすことなく、色分解の構成のみを変更します。改善されたカラーコンポジションにより、印刷中にベタ濃度が変動した場合でも、グレーバランスへの影響が抑えられ、印刷工程全体の安定化を可能にします。

印刷方法と印刷メディアの組合せによって、GMG InkOptimizerは、最大20%までインキ使用量を節約します。

InkOptimizer Sheetfedは枚葉オフセット印刷専用の機能限定版です。

どちらのバージョンも、ColorServerの追加モジュールとして導入することも可能で、色変換とインキ使用量の最適化のシームレスなワークフローを構築することができます。



GMG PrintControl

GMG PrintControlは、印刷プロセスを標準化し、管理するための、ColorServer/InkOptimizer用オプションソフトウェアです。

ISO 12647-2およびISO 12647-3による、Lab値ベースのベタ濃度、及びドットゲインの標準化に加えて、G7が採用するニュートラルグレーに基づいたキャリブレーション (NPDC = Near Neutral Print Density Curve) に対応し、JapanColorやFogra、SWOPのような業界標準、あるいは自社内の標準に印刷機を準拠させることが可能です。

ウィザード形式でガイドを行うため、印刷機の標準化、コントロールストリップ測定による恒常性管理もとても容易です。



GMG FlowConnect

GMG FlowConnectはXMLとXMPをベースとした、ワークフローインテグレーションのためのテクノロジーで、ColorServer/InkOptimizerをDALiM TWiSTやEnfocus SwitchといったワークフローRIPに統合、あるいはアプリケーション間のロードバランスを可能とします。

GMG InkOptimizer/InkOptimizer Sheetfed 技術仕様

必要ソフトウェア構成		機能	
オペレーティングシステム	Microsoft Windows XP Professional, Vista Professional, 7 Professional, Server 2008, Server 2003 (32bit, 64bit)	入・出力フォーマット	PDF, TIFF, TIFF-IT, JPEG, CT/LW, EPS (Photoshop® ピクセルデータ)
推奨ハードウェア構成		対応言語	英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ポーランド語、トルコ語、中国語、日本語、韓国語
プロセッサ	Intel Core i5 650同等品以上	オプション製品	GMG FlowConnectによるワークフローインテグレーション GMG RipServer StandaloneによるファイルのRIP処理 GMG PrintControlによる印刷標準化
メモリ	2GB以上のRAM, 15GB以上のハードディスク空き容量		
グラフィックカード/モニター	最小構成: 1024×768 dpi解像度, 32 bitカラー深度		
その他	DVD-ROM, 2つ以上のUSB 2.0ポート, ネットワークカード		
必要ハードウェア構成は、使用するオペレーティングシステム、追加インストールするソフトウェアに依存します。			

商標について

© 2011 GMG GmbH & Co. KG. GMG、GMGロゴおよびGMG DotProofは、GMG GmbH & Co. KGの商標または登録商標です。その他すべての名称は各権利所有企業の登録商標または商標であり、製品は当該企業の所有物です。仕様およびその他の変更が行われる場合があります。

GMGジャパン株式会社

〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-14-15 武千代ビル4階
Tel. 03-6272-6580 Fax. 03-6272-6581
japan@gmgcolor.com, www.gmgcolor.jp

販売代理店